

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 福山市立内海小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒 722 - 2641  
広島県福山市内海町 73 番地

E-mail : shou-utsumi@edu.city.fukuyama.hiroshima.jp

Website : <http://www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp>

児童生徒数：男子 25 名 女子 20 名 合計 45 名  
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

### <低学年>

○体験的な学習を通して、身近な自然を楽しみ、自然のよさに気付く。

1年：うみとなかよし

- ・天草からトコロテンができることを知る。(トコロテン作り)
- ・内海に住む魚や海草などに触れ、内海の自然のよさに関心を持つ。

2年：生きものだいすき (生活科)

- ・昆虫や小動物、植物の飼育・栽培活動を通して、生きものに親しみを持ってかわり、命の大切さや成長を感じる。

### <中学年>

○身近な自然や環境、文化を守るための方法や取組みについて考える。

3・4年：自分たちのくらしをみつめよう

～ 動き出そう内海 530 (ごみゼロ) めざし隊 ～ (総合的な学習の時間)

- ・内海に接する地域のゴミの現状を知るとともに、ゴミ減量化に向けてできることを考える。

○世界遺産の広島原爆ドーム、平和記念公園を実際に見て、現在まで守り続けた人々の願いを考える。

### <高学年>

○身近な生活や環境から解決すべき課題について自分たちにできることを考える。

5・6年：ふるさと内海を見つめよう

～ 50年後の内海町に自分たちの願いを届けよう ～ (総合的な学習の時間)

- ・身近な生活(福祉)や環境から解決すべき課題について調べる活動を通して、住みよい町づくりの取組みを知り、自分たちにできることを考える。
- ・気象観測データの収集をして分析し、環境問題について考える。そして、自分たちの生活の改善点を探る。
- ・気象館での気象体験を、継続しているグローブ活動に結びつけて考える。

### <全校>

○学校近くの浜の地域清掃をして、浜をきれいにするとともに、海辺のゴミの現状を知るとともに、ゴミ減量化に向けてできることを考える。

○EM菌の培養・プールへの投入活動を通して、水の浄化、水の環境について考える。

### <委員会活動>

○ゴーヤを育て、緑のカーテンを作ることを通して、温暖化について考え、自分たちにできることを考える。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）